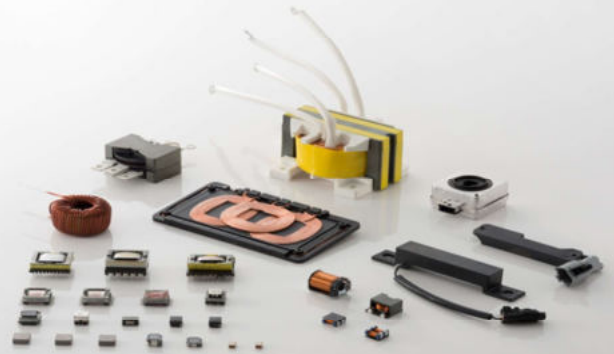




スミダコーポレーション株式会社

2020年12月期第2四半期決算説明資料

2020年7月31日





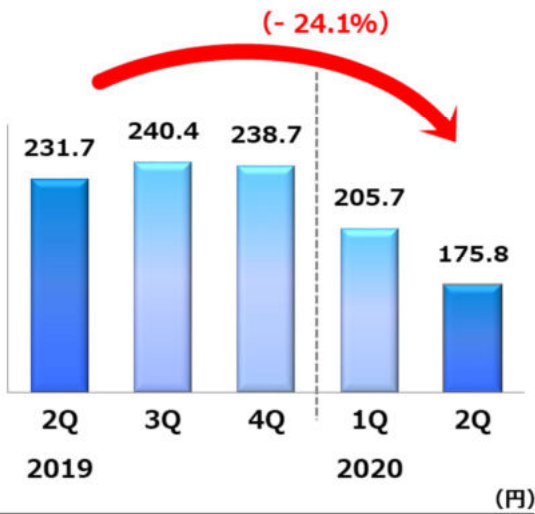
2020年第2四半期業績概要 および経営施策

堀 寛二
社長

売上高の推移



(億円)



- 新型コロナウイルスの影響の長期化による車載マーケットの低迷、特に北米、欧州地域が大幅にマイナス
- インダストリー、家電マーケットは計画通りに推移
- 売上高は5月に底を打ち、6月以降徐々に回復

	(円)				
USD	110.45	107.32	108.57	109.43	107.89
Euro	123.74	120.20	119.76	120.76	118.17

市場別売上高 前年同期比較



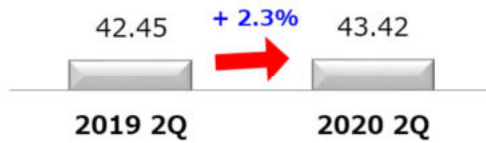
(億円)

車載



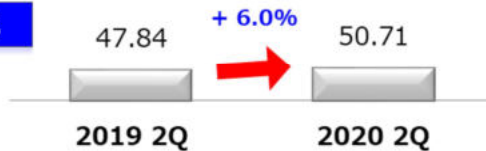
▶ 北米、欧州車載マーケットは大幅縮小。一方、2019年度から低迷が続いていた中国の需要は回復

インダストリー



▶ 太陽光発電向けビジネスと医療分野及び家電用生産設備向け顧客が好調であった為、前年対比で若干のプラス成長

家電



▶ ホームワーク効果により、ノートパソコン、サーバー向け用の製品が前年対比でもプラス成長を実現

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

4

地域別売上高 前年同期比較

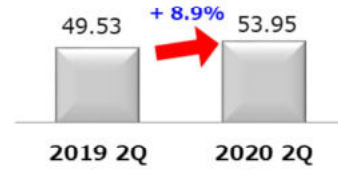


(億円)

アジア (中国/台湾除く)



中国/台湾



北米/その他



欧州

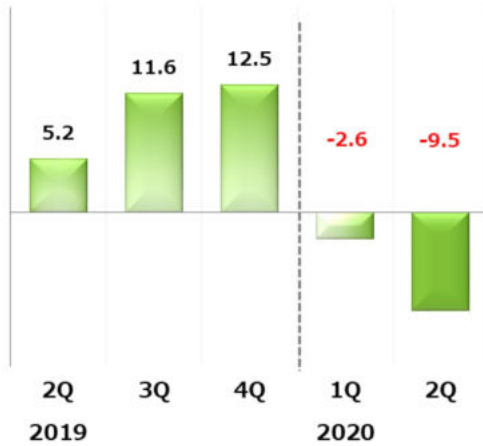


- アジア (日本、韓国、シンガポール) では、新型コロナウイルスの影響が1Qから継続しマイナス成長
- 中国では車載関連の売上高が回復
- 北米は、1Qに引き続き、新型コロナウイルスの影響を受け売上高が大幅に縮小し、前年対比では大幅にマイナス成長
- 欧州は、1Qと同様に車載関連の売上高が大幅に縮小し、前年対比でマイナス成長。インダストリー、医療関連の売上高は堅調に推移

営業利益の推移



(億円)



- 1Qと同様に売上高減少による工場の操業度低下により営業利益が大きく減少
- 家電マーケットの主要顧客の戦略変更の影響により固定資産を再評価した結果、減損損失として約9億円を計上
- 1Qと同様に非常に厳しい外部環境下、再度業務プロセスの見直し、改善を行った結果、対前年同期比で約6%の固定費削減
- 特別要因（減損損失）を除いたベースでは、黒字転換への見通しが現実化

新型コロナウイルス感染対策と影響



■ 当社グループ内の対応

- ✓ 全ての拠点において、ウイルス感染防止策を徹底し、通常稼働を確保
- ✓ 工場を除く、全ての業務において、新型コロナ下でも生産性を落とすことなく業務を遂行するための業務プロセス見直しを実施

■ 顧客・市場動向

- ✓ 車載
 - 中国：新型コロナ以前の状況までに回復
 - 北米、欧州：6月からOEMの工場稼働状況が改善、売上高は回復基調
 - 日本：2Qレベルが継続（ただし、顧客の在庫の水準が高く、生産調整の可能性はある）
- ✓ インダストリー
 - 2Qと同様に太陽光発電、医療、家電用生産設備関連ビジネスが計画通りに推移する見込み
- ✓ 家電
 - ホームワーク需要増によりパソコン、サーバー関連が引き続き堅調に推移する見込み

3Qの見通し



■ 2Qとの比較

- ✓ 中国は2Qを上回る見込み
- ✓ 北米、欧州車載マーケットは、改善傾向が継続
- ✓ 日本は、OEM先での在庫水準が高く、2Qレベルが継続
- ✓ インダストリー、家電関連は上半期と同様に堅調に推移

■ 3Q以降の損益に大きく影響するアイテム

- ✓ 各国における車載OEM工場が継続して稼働するか
- ✓ 新型コロナ下での、顧客の新製品立ち上げ状況



2020年第2四半期決算概況

本多 慶行
CFO

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

9

当社グループ財務の状況



【当社グループ財務の状況】

財務の状況については、現時点において顕在化している問題はありませんが、各国のキャッシュの流れを注視、次のような取組みを進めました。

- 有利子負債の削減に努め、前期末からネット銀行借入金を4億7千万円削減しました。
- 従来から資金の“見える化”を進め、グループ会社の資金の動き、残高等グローバルベースで資金まわりの管理が行えるグローバルキャッシュマネジメントを実行しています。
- 6月に20億円増額し現在100億円となったコミットメントラインを未使用のまま維持し、9月にはさらに30億円増額し、コミットメントラインを総額130億円とするよう準備を進めています。
- 徐々に売上の回復が見込まれる為、今後運転資本の増加が見込まれます。グローバルキャッシュマネジメントに活用しているKriba (SaaS) で、4月から全社ベースで先6ヶ月のキャッシュフローフォーキャストを毎月更新するとともに、6月から世界8カ国、6通貨での銀行借入金の合計残高を毎週モニターしています。

前年同期、直前四半期比較



(単位：百万円)

	19.2Q (A)	20.1Q (B)	20.2Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
売上収益	23,172	20,573	17,588	△24.1%	△14.5%
売上総利益	2,838	2,306	1,072		
売上総利益率	12.3%	11.2%	6.1%		
営業利益 (△損失)	524	△260	△954	-	-
営業利益率	2.3%	-1.3%	-5.4%		
金融収益/費用 (Net)	△344	△314	△273		
税引前四半期利益 (△損失)	179	△574	△1,228	-	-
法人所得税費用	△243	114	268		
親会社所有者に帰属する 四半期利益 (△損失)	4	△481	△901	-	-
基本的1株当たり 四半期利益 (△損失) (円)	0.17	△17.75	△33.22		

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

11

【2020年第2四半期の業績】

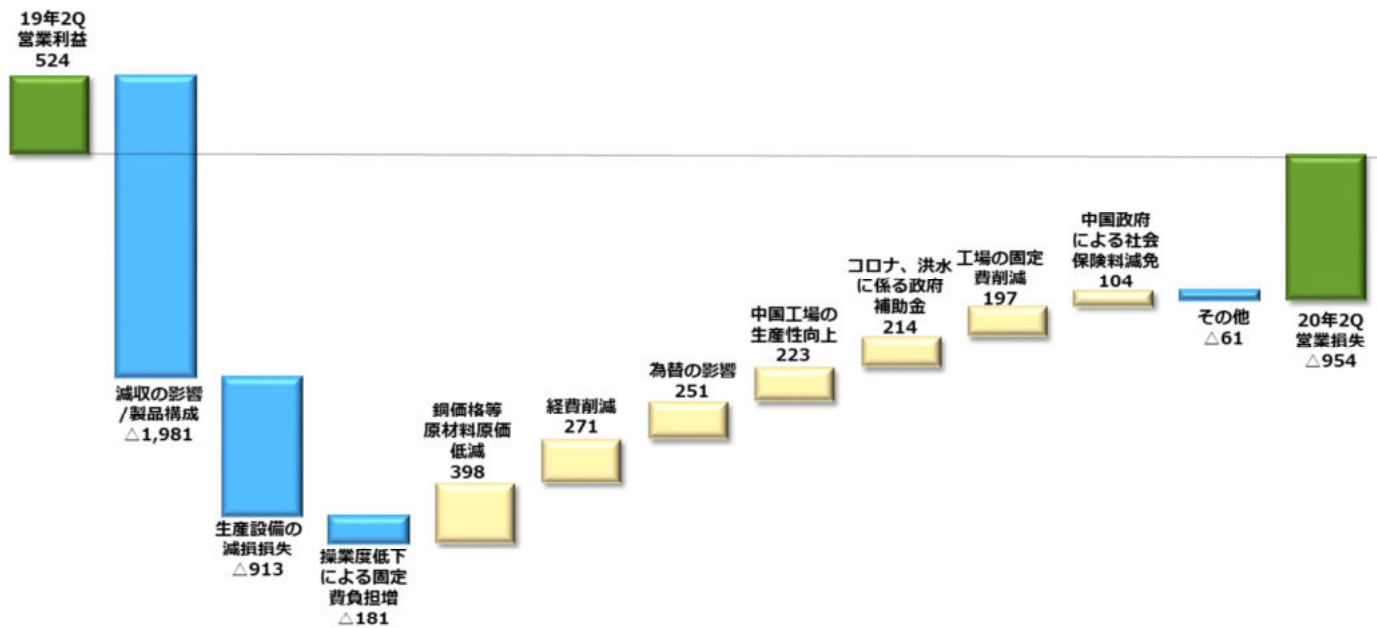
売上収益は176億円で前年同期比24.1%のマイナス、また営業損失は9億5千万円となりました。

3月下旬以降、中国工場の操業は急速に正常化しましたが、欧米でのコロナウイルス感染が本格化し3月下旬以降、工場を休止する顧客が出始め、第2四半期は需要サイドからの影響で売上が伸び悩みました。4月、5月と売上が大きく落ち込みましたが5月をボトムとして6月以降徐々にではありますが売上の回復が見られる状況になりました。

営業利益増減要因分析 – 20年2Qと19年2Q –



(単位：百万円)



Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

12

以下、主な営業損益の増減要因の説明になります。

売上が約56億円、24%落ち込み営業利益は19億8千万円減益

スマホメーカーが新製品について大きく戦略変更した結果、生産設備の減損損失が発生し913百万円の減益、この損失については補償を受ける事になっていますが、現時点では金額、時期、方法が確定していません。

工場の固定費を197百万円削減できたものの操業度低下により固定費を負担しきれず181百万円減益

銅価格等原材料原価低減で398百万円増益

コロナ、洪水に係るドイツ政府補助金により214百万円増益

生産性向上により223百万円増益

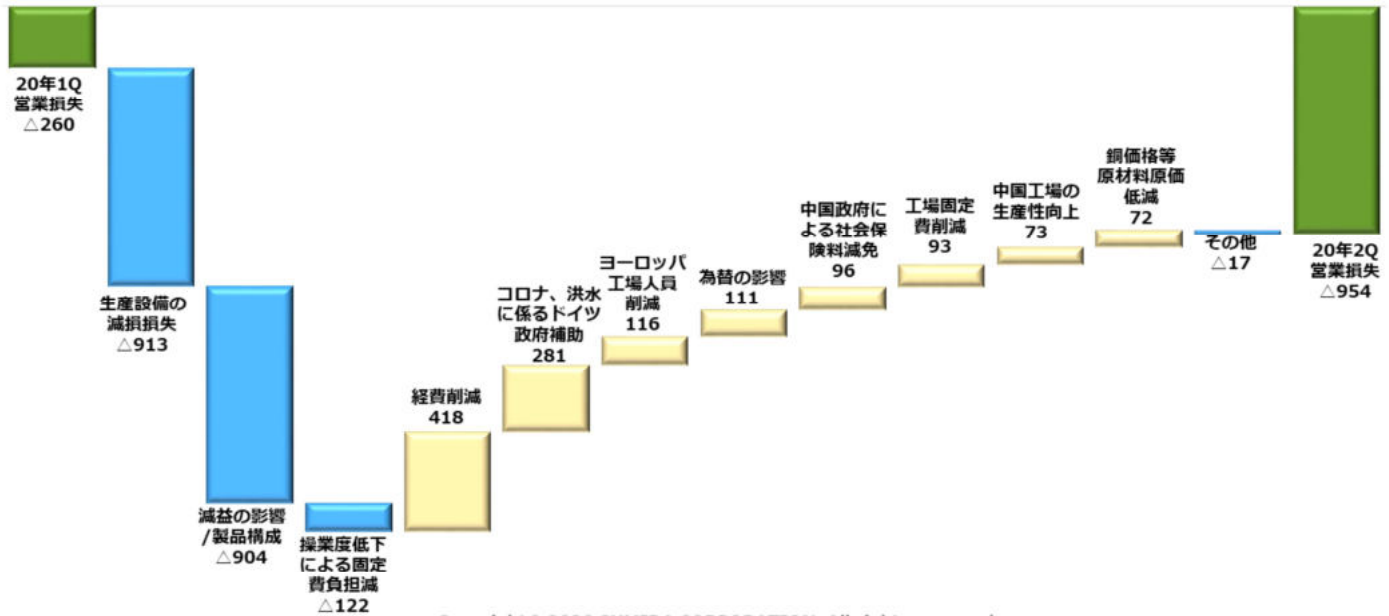
経費削減により271百万円の増益

中国政府による社会保険料の減免で104百万円増益

営業利益増減要因分析 - 20年2Qと20年1Q -



(単位: 百万円)



Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

13

以下、主な営業損益の増減要因の説明になります。

売上が約30億円、14.5%落ちることで営業利益は904百万円減益、

スマホメーカーが新製品について大きく戦略変更した結果、生産設備の減損損失が発生し913百万円の減益、この損失については補償を受ける事になっていますが、現時点では金額、時期、方法が確定していません。

工場の固定費を93百万円削減できたものの、メキシコ、ヨーロッパ等、中国以外の工場の操業度低下により固定費を負担しきれず122百万円減益

経費削減により418百万円の増益

コロナ、洪水に係るドイツ政府補助金により281百万円増益

ヨーロッパでの工場人員削減により116百万円増益

中国政府による社会保険料の減免で96百万円増益

中国工場の生産性向上により73百万円増益

前年同期比較



(単位：百万円)

	19年第2四半期 累計期間 (A)	20年第2四半期 累計期間 (B)	前年同期比 (C)/(A)
売上収益	46,371	38,161	△17.7%
売上総利益	5,928	3,378	
売上総利益率	12.8%	8.9%	
営業利益 (△損失)	1,124	△1,214	-
営業利益率	2.4%	-3.2%	
金融収益 / 費用 (Net)	△678	△587	
税引前四半期利益 (△損失)	445	△1,802	-
法人所得税費用	△391	383	
親会社所有者に帰属する 四半期利益 (△損失)	118	△1,383	-
基本的1株当たり 四半期利益 (△損失) (円)	4.39	△50.97	

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

14

売上収益は382億円で前年同期比17.7%のマイナス、また営業損失は12億1千万円となりました。

第1四半期は、中国政府のコロナウイルス感染対策により、1月下旬からの旧正月の中国工場の操業休止が長引き3月に入るまで生産が十分に立ち上がらず、製品供給が困難な中売上が低迷しました。

第2四半期は欧米でのコロナウイルス感染が本格化し3月下旬以降、工場を休止する顧客が出始め、第2四半期は需要サイドからの影響で売上が伸び悩みました。4月、5月と売上が大きく落ち込みましたが5月をボトムとして6月以降徐々にではありますが売上の回復が見られる状況となりました。

連結財政状態



(単位：百万円)

	19年12月末	20年6月末	増 減		19年12月末	20年6月末	増 減
流動資産	43,032	42,087	△ 945	流動負債	30,630	31,301	671
現金及び現金同等物	3,286	5,038	1,751	営業債務及びその他の債務	10,184	8,522	△ 1,661
営業債権及びその他の債権	18,826	14,291	△ 4,535	短期有利子負債	9,303	10,776	1,473
棚卸資産	16,877	18,014	1,136	1年内返済予定又は償還予定の長期有利子負債	6,367	6,907	539
その他の流動資産	4,041	4,743	702	1年内返済予定のリース債務	807	734	△ 73
非流動資産	53,528	52,828	△ 700	その他の流動負債	3,967	4,361	393
有形固定資産	35,668	35,051	△ 617	非流動負債	31,337	31,237	△ 99
使用権資産	3,938	4,531	593	長期有利子負債	23,707	22,976	△ 730
のれん	4,176	4,144	△ 31	リース債務	3,462	4,147	684
無形資産	6,151	6,056	△ 95	その他の非流動負債	4,166	4,113	△ 53
繰延税金資産	2,140	2,098	△ 41	負債合計	61,967	62,539	571
その他の非流動資産	1,453	944	△ 508	資本合計	34,593	32,376	△ 2,217
資産合計	96,561	94,915	△ 1,645	親会社所有者に帰属する持分合計	33,013	30,846	△ 2,167
	19年12月	20年6月		非支配持分	1,579	1,529	△ 50
流動比率	1.40	1.34		負債資本合計	96,561	94,915	△ 1,645
Net DEレシオ	1.09	1.15		為替 米ドル/円	108.66	107.72	
C C C (日)	107	111		ユーロ/円	121.83	120.93	
				人民元/円	15.54	15.20	

* Net DEレシオ：(短期銀行借入+1年内長期銀行借入+長期銀行借入)-現金及び現金同等物) / 親会社所有者に帰属する持分合計

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

15

昨年度末から運転資金（売掛金＋棚卸資産－買掛金）が減少し、ネット銀行借入金が約4億7千万円減少しました。

連結キャッシュ・フロー



(単位:百万円)

	19年第2四半期累計期間	20年第2四半期累計期間	差異
営業キャッシュ・フロー	4,483	3,619	△863
税引前四半期利益	445	△1,802	△2,248
減価償却費及び償却費	2,599	2,893	293
減損損失	3	911	907
運転資本の増減	1,299	1,147	△152
その他	134	470	336
投資キャッシュ・フロー	△3,571	△2,787	784
設備投資	△3,248	△2,555	693
その他	△323	△232	91
財務キャッシュ・フロー	297	965	667
有利子負債の増減	1,276	1,692	416
配当金支払	△405	△162	242
その他資本性金融商品の所有者に対する 分配の支払額	△98	△101	△2
リース債務の返済による支出	△473	△462	11
その他	△0	0	0
現金及び現金同等物四半期末残高	5,175	5,038	△137

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

16

運転資本の縮小、顧客からの要請による設備投資の先延ばしにより、その結果フリーキャッシュフローがプラスになりました。

通期業績予想の見直し



(単位：百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益(円)
期初発表予想 (A)	96,000	4,000	2,800	2,000	73.97
今回修正予想 (B)	77,700 ~80,200	△220 ~560	△1,400 ~△620	△980 ~△270	△36.09 ~△9.94
増減額 (B-A)	△18,300 ~△15,800	△4,220 ~△3,440	△4,200 ~△3,420	△2,950 ~△2,250	
増減率 (%)	△19.1% ~△16.5%	~ △86.0%	-	-	
(参考) 前期実績 (2019年12月期通期)	94,283	3,543	2,184	1,582	58.36

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

17

世界的にコロナウイルスの感染が広がり2020年12月の今期末までの見通しが不透明なので、2月に公表させていただいた業績予想の修正を幅を持って公表させていただきます。

業績予想の下限については、足元6-7月の回復基調が8月以降停滞する前提を置きました。一方上限については、足元の回復基調が年度末まで継続する前提を置きました。

但し、以下の3項目につきましては、今回の業績予想には反映しておりません。

1. 生産設備の減損損失についてのスマホメーカーからの補償。補償を受ける事に合意はあるものの、詳細が確定していない為です。
2. 一昨年に買収した米ポンティアック社ののれんを含む無形固定資産の減損リスク。主要顧客であるGM社のコロナ感染の中長期的な影響を現時点では評価できない為です。
3. 去る4、5月に経験した自動車、OEMメーカーの工場休業の再発。今後大きな感染拡大により工場の休業があるかないか不明な為です。

また弊社は従来より業績連動報酬制度を運用しています。執行役を含む経営幹部の場合、業績によって現金報酬の23%から51%が減額になります。

四半期業績推移



(単位: 百万円)

		19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q
売上収益		23,172	24,040	23,871	20,573	17,588
営業利益		524	1,163	1,254	△260	△954
為替	米ドル/円	110.45	107.32	108.57	109.43	107.89
	ユーロ/円	123.74	120.20	119.76	120.76	118.17
	人民元/円	16.27	15.39	15.34	15.66	15.17

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

18

報告セグメント四半期会計期間売上収益



(単位：百万円)

	19.2Q (A)	20年1Q (B)	20年2Q (C)	前年同期比 (C)/(A)	直前四半期比 (C)/(B)
アジア・パシフィック事業	14,687	12,244	12,155	△17.2%	△0.7%
EU事業	8,485	8,328	5,433	△36.0%	△34.8%
合計	23,172	20,573	17,588	△24.1%	△14.5%

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

19

減価償却費、設備投資額、研究開発費



(単位：百万円)

		19年第2四半期累計期間 (実績)	20年第2四半期累計期間 (実績)
減価償却費		2,599	2,893
設備投資額		3,248	2,555
研究開発費		2,087	1,806
期中平均 為替レート	米ドル/円	110.34	108.66
	ユーロ/円	124.72	119.46
	人民元/円	16.26	15.42

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

20

配当について



(単位：円)

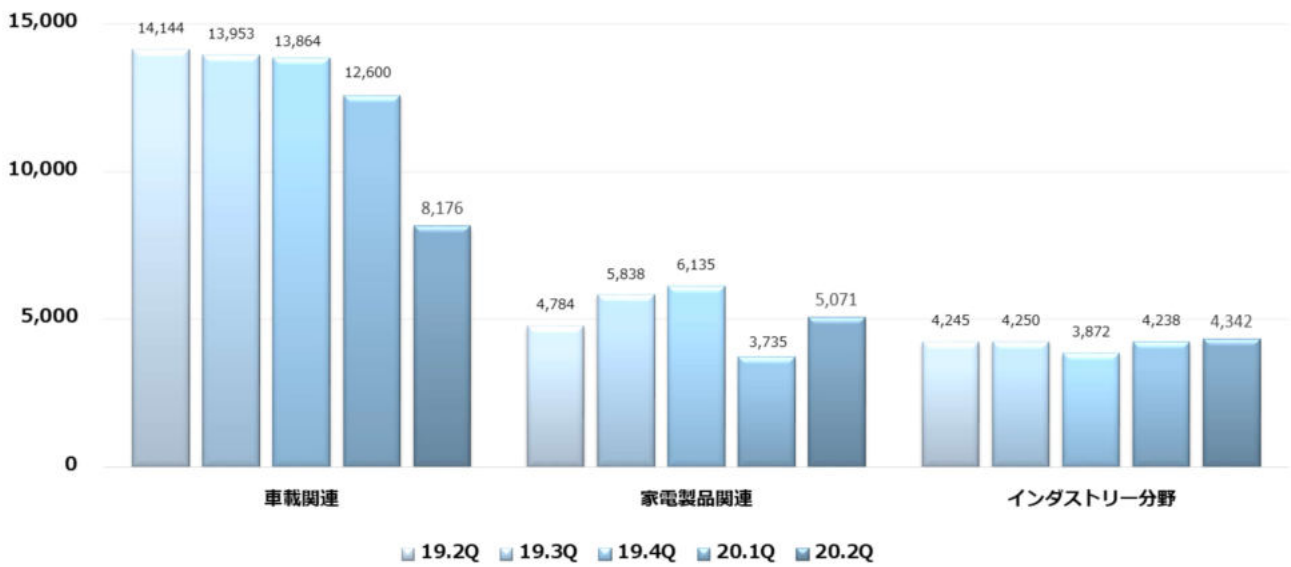
	1Q	2Q	3Q	4Q	年間配当
2020年12月期 期初配当予想	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00
配当実績	0.00	0.00			
修正配当予想			-	-	-
2019年12月期 配当実績	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00

(注) 第3四半期以降の配当は未定

市場セグメント別四半期売上収益



(単位：百万円)



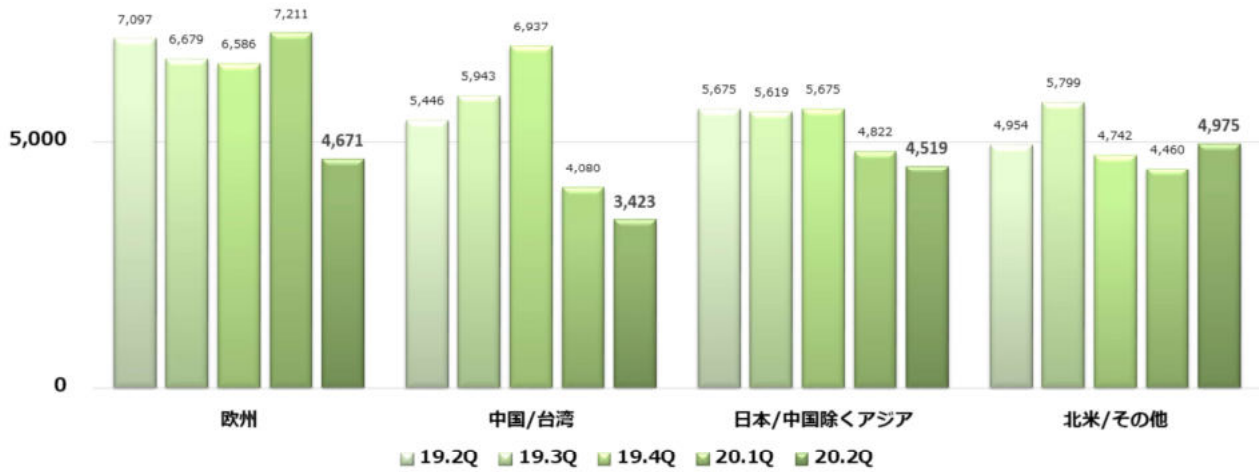
Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

仕向地別四半期売上収益



(単位：百万円)

10,000



Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

為替の影響度



(単位：百万円)

為替変動による影響

通貨	2020年 前提為替 レート	対円変動幅	売上収益 への影響	営業利益 への影響
USドル	108.00円	1円円高	△140	△49
ユーロ	119.00円	1円円高	△115	△7
人民元	15.00円	1円円高	△162	236

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

24

四半期売上収益/営業利益推移



(単位: 百万円)

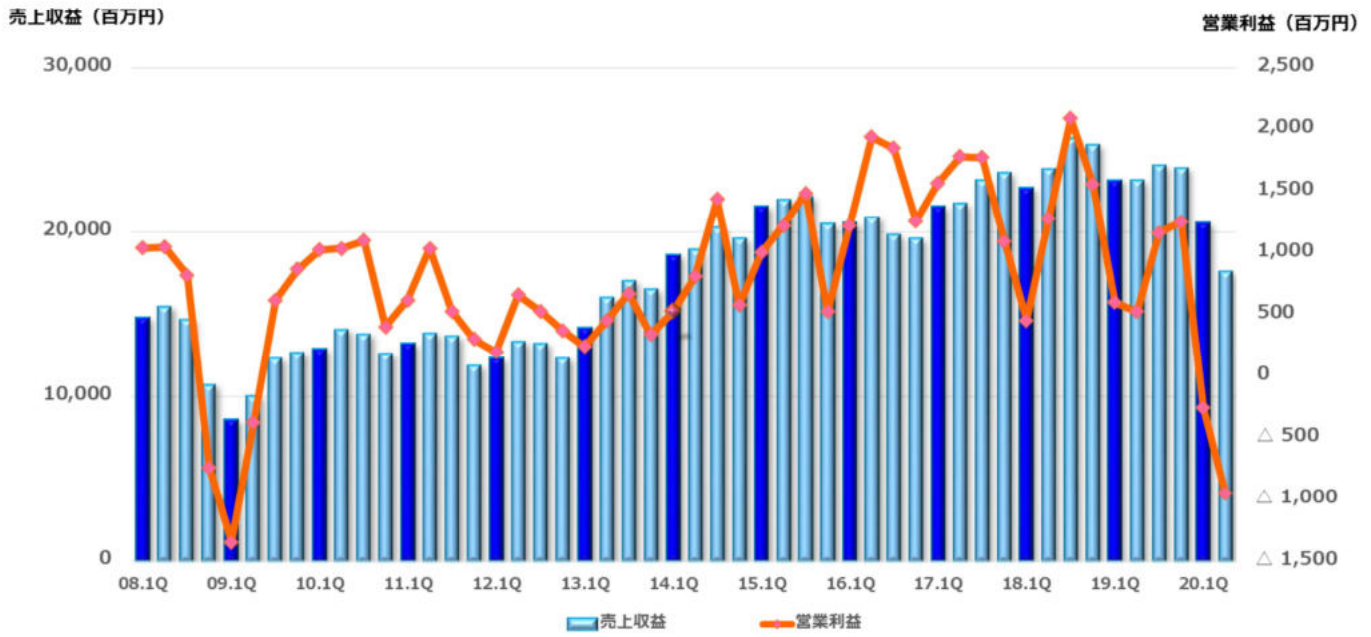
	10.3Q	10.4Q	11.1Q	11.2Q	11.3Q	11.4Q	12.1Q	12.2Q
売上収益	13,828	12,615	13,259	13,880	13,705	11,913	12,375	13,346
営業利益	1,102	404	618	661	530	300	197	552
	12.3Q	12.4Q	13.1Q	13.2Q	13.3Q	13.4Q	14.1Q	14.2Q
売上収益	13,220	12,357	14,228	16,021	17,067	16,575	18,647	18,986
営業利益	582	366	240	449	670	338	524	808
	14.3Q	14.4Q	15.1Q	15.2Q	15.3Q	15.4Q	16.1Q	16.2Q
売上収益	20,304	19,624	21,585	21,961	22,152	20,537	20,603	20,921
営業利益	1,436	576	1,003	1,224	1,484	524	1,223	1,936
	16.3Q	16.4Q	17.1Q	17.2Q	17.3Q	17.4Q	18.1Q	18.2Q
売上収益	19,876	19,651	21,599	21,769	23,164	23,621	22,701	23,838
営業利益	1,849	1,260	1,566	1,780	1,774	1,097	456	1,281
	18.3Q	18.4Q	19.1Q	19.2Q	19.3Q	19.4Q	20.1Q	20.2Q
売上収益	25,682	25,314	23,198	23,172	24,040	23,871	20,573	17,588
営業利益	2,085	1,559	600	524	1,163	1,254	△260	△954

※2016年第1四半期からIFRS基準を任意適用した数字を記載しています。

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

25

四半期売上収益/営業利益推移

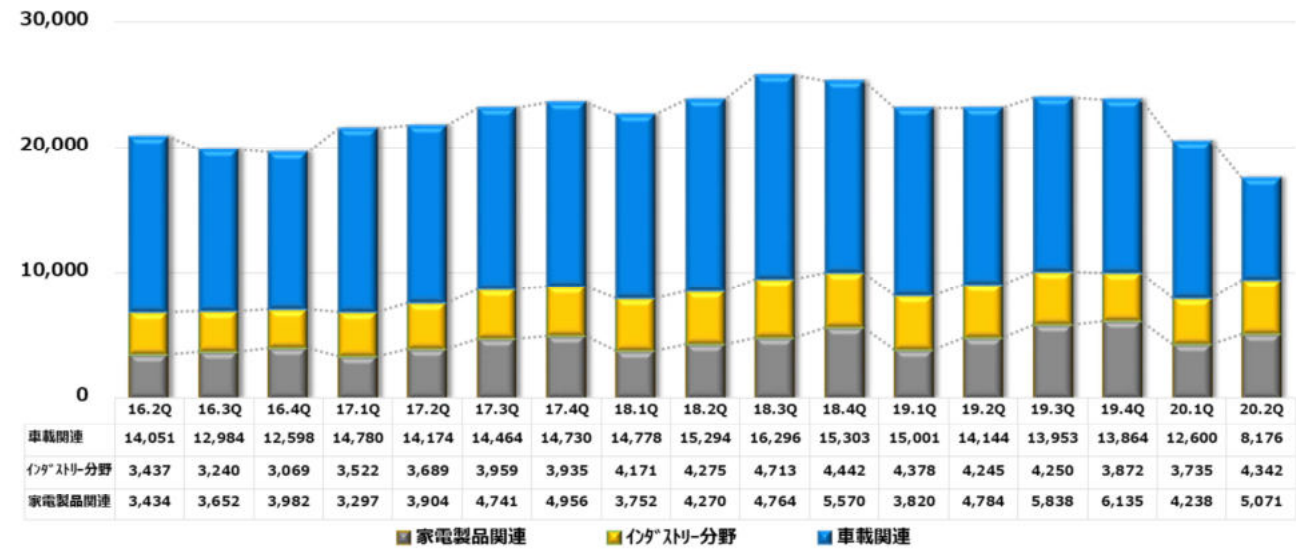


Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

市場セグメント別売上収益 四半期推移



(百万円)



(注) 市場セグメントの見直しにより、過去数値については変更される場合があります。

Copyright© 2020 SUMIDA CORPORATION. All rights reserved.

ご注意



将来予測に関する記述

当資料に掲載されている記述には、当社の将来予測に関する記述が含まれています。これらの将来予測に関する記述は、当社が現時点で入手した情報に基づくものです。従って、予期せぬ事象の発生及び経営環境の変化（世界経済情勢、事業構造、競争状態、技術動向、公的規制、社会環境・労働環境等によるものを含みます。）等の要因によって、実際の結果がこれらの将来予測に関する記述と異なる結果となる可能性があることをご了承ください。また、当社は、実際の結果が将来予測に関する記述と異なる結果となった場合でも、将来予測に関する記述を修正して公表する義務を負うものではありません。また、そのことに付随して発生したいかなる損失、損害にも責任を負いません。

本資料の著作権は、当社に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

なお、本資料では百万円単位で管理している原数値を億円単位で表示している場合があり、合計額、差額等が不正確な場合があります。詳細な数字が必要な場合は決算短信を参照していただきますようお願いいたします。